

福井　節子 議員

米価下落、米づくりが非常事態。生産者をはげます市農政を

問　備蓄米の買入れで、食糧安全保障の観点からも備蓄水準を元に戻し受給環境を改善し、米価下落に歯止めを掛ける必要があると考えるがどうか

答　放出分の買戻しで備蓄水準の回復は、米価の安定と食料安全保障の両面と、市内農業者の経営安定の観点からも重要です

高島の米生産の持続が窮地に追い込まれている。早場米の概算金は、昨年比で45％下落という深刻な事態だ。この危機打開に、国・県・市のあらゆる方策が農業政策に求められる。

問　備蓄米31万tの買戻しと29万tの買入れを早急に行い、食糧安全保障の観点からも備蓄水準を元に戻し受給環境を改善し、米価下落に歯止めを掛ける必要がある。市として可能な行動を提起したいがどうか。

答　農林水産部長

政府備蓄米の令和8年産約20万8000tの買入れは成立していますが、放出分の買戻しなど適正備蓄水準を早期に回復することは、米価の安定と食料安全保障の両面から、市内農業者の経営安定の影響の観点からも非常に重要です。市として近畿地方農政局滋賀県拠点をはじめ、県、高島地域農業センター、高島市農業再生協議会、JAレーク滋賀、農業団体などと連携し、市内の状況把握に努めていきます。

問　昨年に比べ10haで1000万円前後の減収と、高島市全体では20億円を越える減収となった。後継者の方は「希望が見えない」とこぼされ、切実な陳情書が議会に届けられている。また「農機具が傷み中古を買ったが、支払いが大変」との声もある。東北の自治体では、市や県に相談窓口を作ったと聞く。県やJAなどと相談し、農業者の相談窓口を設置してはどうか。

答　農林水産部長

現在、市をはじめ、県、JA、農業センターと、農業者との窓口が既に複数存在しており、情報や課題を共有して対策を検討する連携会議を定期的に開いており、既存の専用の相談窓口により機能をさらに強化していきます。

問　中山間農地への支援の継続や、米の価格が再生産のコスト60kg2万500円を下回らないよう、守り抜いてもらいたいがどうか。

答　農林水産部長

世界情勢や国の政策的要因や構造がありますが、動向を注視し必要な対策を検討していきます。

その他の質問

・子ども達の熱中症予防と、頻発する災害に避難する市民の命と健康を守る対策は出来ているか
・新環境センターの更なる見直しで、市と市民負担軽減を